

# 障がい特性や発達段階に合わせた障がい児への視覚評価について

心身障がい福祉センター療育課

## 1. はじめに

お子さんの視力について、「うちの子、どのくらい見えているのかな?」、「3歳児健診で上手く視力が測れなかった」という声が多く聞かれます。視力の発達には感受性の高い時期があるため、視覚の問題の早期発見・早期療育が重要です。

心身障がい福祉センター視覚障がい児部門では、視力検査が困難な知的障がい児や発達障がい児、視覚反応が得られにくい重度心身障がい児の視覚評価と支援を行っています。ここでは、障がい特性や発達段階に合わせた視覚評価の実践について報告します。

## 2. 対象児

児童発達支援センターや特別支援学校に在籍、もしくは相談利用している児童・生徒のうち、保護者や担任が視覚評価を希望する方が対象です。市内の施設からは「障がい児等療育支援事業」として、市外の施設からは講師として派遣の依頼を受け、実施しています。

## 3. 目的

- ① 視覚に問題のあるお子さんを早期発見し、医療や視覚障がい療育に繋げること。
- ② 視力を知りたいという保護者や担任の要望に応じ、視覚評価を行うこと。
- ③ 視力に応じた適切な配慮や関わり方を保護者や担任に助言し、お子さんのQOLを高めること。



## 4. 方法

### ①視覚評価

→お子さんの障がい特性や発達段階に合わせて、表1に示した4種類の視力検査の中から適した検査道具を選定し、視力の評価を行います。検査を実施する際には、緊張や慣れにくさなどへの配慮を行い、安心して検査を受けられるようにします。

### ②保護者へのフィードバック

→視覚評価の結果を書面で提示し、助言や保護者学習会による情報提供を行います。また、必要に応じて眼科への受診を勧めます。

### ③施設職員へのフィードバック

→視覚評価の結果を提示し、カンファレンスによる情報共有を行います。

【表1】視力検査の種類と概要

種類	Teller Acuity Card (TAC)	字ひとつランドルト環	森実Dot Card	リー・シンボルカード
視標				
実施方法	子どもの眼前に片側に縞模様が描かれたボードを提示し、子どもの視線の動きを観察したり、「しましまタッチ」で縞視標を選択させたりする。	ハンドル型の模型を子どもに持たせ、検査者が提示した視標と同じ方向に模型をマッチングさせる。	くまの顔の中に目(ドット)があるカードと目がないカードの2枚を提示し、目がある方のカードを選択させる。	4種類の形を弁別できるかで視力を測定する。検査者が提示した指標を言葉、ジェスチャー、指さしなどで回答させる。
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児用に開発されており、視線の動きだけで評価ができる。ほとんどの子どもで評価が可能である。</li> <li>・近見視力のみ測定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚認知力が3歳程度の発達段階にあれば評価が可能である。</li> <li>・遠見視力と近見視力の評価が可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より詳細な近見視力の評価が可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚認知力が2歳半程度の発達段階にあれば評価が可能である。</li> <li>・遠見視力と近見視力の評価が可能である。</li> </ul>